



社会人(左手前)に相次いで質問する学生たち

教えて地域の魅力

八工大・
八工大生
社会人と懇談

八戸

八戸市の八戸学院大学と八戸工業大学の学生が9日、同市の八戸ポータルミュージアムはっちで、同出身の社会人と懇談し、地域との関わりについて学んだ。

八戸学院大の「学生定住促進に向けたはちのへエリ

ア体験事業」の一環で、学生が有意義な大学生活を送るとともに、地域をもっと知るのが狙い。学生17人が4班に分かれて、観光団体職員、NPO法人職員、食育愛情料理家、飲食店経営者の4人をインタビューした。

八戸観光コンベンション協会職員の西野正紀さん(36)を囲んだ学生は「八戸

に戻ってきた理由は?」「自分の中で大事なものは何ですか」などと人生観に関する質問をした。西野さんは「子どもをここで育てたかった」などと答えていた。中には「趣味は」「座右の銘は」などの質問もあり、社会人は少し戸惑った表情を見せていた。

インタビュー後、班ごとに感じたことや学んだことをリポートにまとめて発表した。八戸学院大ビジネス学部2年の坂本賢太さん(20)は「第一線で働いている人の話を聞いて、やりたいたいと思うことを直感で決めるのも大切だと思った」と話していた。(月館慎司)